

# 国際経営プロフェッショナル専攻

## 国際経営プロフェッショナル専攻

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「[選考方法について](#)」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時（春学期）	面接日時（秋学期）	留意事項	連絡先
国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）	有	書類審査及び面接	授業担当教員	3/2（土）～3/9（土） 本人と打ち合わせの上、決定	7/6（土）～7/13（土） 本人と打ち合わせの上、決定	・電子メールを使用できる環境であること ・各学期につき、最大3単位、合計で10単位まで履修可能 ・出願者は出願期間中に右連絡先に連絡してください	businessentrance@un.tsukuba.ac.jp

国際経営プロフェッショナル専攻

選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OAFM201	Organizational Management II: Professional Manager	1	1.0	1・2	秋B	土3.4		野田 亨	The MBA-18 Organizational Management II: Professional Manager Course aims to provide students with the opportunity to learn practical and real world issues, and challenges as well as strategies from the micro managerial point of view. Students will learn theories and frameworks, and practice how to apply them to real cases.	01PC201と同一。 英語で授業。 対面	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM310	Marketing III: Branding	1	1.0	1・2	春A	水7.8		Tan Caroline S.L.	ブランドは、会社にとって本質的に最も価値のある資産の一つである。ブランド管理は、企業の競争戦略の不可欠な部分。ブランドとブランド管理の異なるコアな側面の理解は、顧客ロイヤリティと強力なブランド・エクイティを確保する上で重要である。このコースでは、ブランドとブランド管理の基礎を考察する。学生は、ブランドのポジショニング、構築、維持、発展、ブランド評価、グローバルブランドの管理を学修する。このコースは講義とケーススタディを用いて、学生は、様々な産業のアイデアや提案を議論し、発表する機会を与えられる。	01PC312と同一。 英語で授業。 対面	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM313	Technology Management	1	1.0	1・2	秋B	水7.8		平井 孝志	この講義では、ディスカッション、ケーススタディ形式も組み合わせ、技術経営(マネジメント・オブ・テクノロジー)の全体像を把握・理解することを目的に開講される。それは言い換えると「企業がどのように価値を創造をおこない、そこから生じる価値をどのように獲得していくべきか」という課題に対して、実務上の示唆を得ることを目的としているとも解釈できる。この講義では、技術経営とイノベーションに関連するコア・コンピテンシや競争戦略に関するトピックについても触れ、技術経営と戦略との接点を探っていく。	01PC330と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM315	Business Model Innovation	1	1.0	1・2	秋A	水7.8		平井 孝志	この講義は、既存企業において既に存在するビジネスモデルをどのように変革していくのか、あるいは新しいビジネスモデルをどう着想し、構築していくのかに関する方法論を、学生が理解できるように設計されている。履修者は、経営戦略の前面と、組織論に関する側面の双方から、優れたビジネスモデルについて検証・考察を行うことになる。講義では、理論やフレームワークに関するレクチャーと、実務的な事例を取り上げた議論をバランスよく取り入れることで学習効果を高めること狙う。	01PC337と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM401	Cross Cultural Management I: Managing Across Borders	1	1.0	1・2	秋A	土1.2		Magnier-Watanabe Remy	This course explores some theoretical concepts and practical examples related to the global manager's environment, social responsibility, national and organizational culture, foreign market entry, and global leadership.	Face-to-face (partially online) 01PC421と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM402	Cross Cultural Management II: The Challenges of Globalization	1	1.0	1・2	秋C	木7.8		Magnier-Watanabe Remy	この講義では、ディスカッション、ケーススタディ形式も組み合わせ、マクロレベル、ならびにミクロレベルの双方の観点に基づき、国際ビジネスにおける重要課題に対して、焦点を当てた議論を行っていく。講義において取り上げる主たるトピックとしては、経済システムとその発展ダイナミズムにおける課題、地域経済の統合過程・状況に関する課題、国際的な事業機会の分析のための手法、国際貿易に関する理論や経済学的な視点での課題、海外直接投資の実際、グローバルな人的資源管理などが挙げられる。	Face-to-face (partially online) 01PC422と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM414	Business Studies I (Seminar)	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		Tan Caroline S.L.	This course is for the Field Work pre-departure. Students will be researching and analyzing specific assigned topics in preparation for the company visits.	Identical to 01PC440. Lecture is conducted in English. 01PC440と同一。 英語で授業。			国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM415	Business Studies II (Fieldwork)	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		Tan Caroline S.L.	This course provides students the opportunity to visit companies operating in a different range of industries as well as institutions involved in innovation in a foreign country. Students will be able to observe international business concepts in practice from the viewpoint of the foreign companies.	01PC441と同一。 英語で授業。			国際経営プロフェッショナル専攻
01PCS04	Operations Management II: Decision Analysis	1	1.0	1・2	春C	金7.8		徐 驊	決定分析は、複数の目標または不確実性を伴う複雑な意思決定を取り扱うための強力なツールを提供する。このコースでは、意思決定における様々なチャレンジを特定して克服するための有用な決定分析のプロセス、モデルや方法などについて学習する。複数の目標を持つ意思決定、不確実性の下での意思決定や、異なる目標を持つ異なる意思決定者による意思決定などの状況における決定分析のための基本概念、モデルと実践的な方法を紹介する。現実的な意思決定問題を、グループワークによる解決する練習を行う。	オンライン(対面併用型) OAFM506と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
01PCS05	Operations Management III: Risk Analysis	1	1.0	1・2	秋B	木7.8		徐 驊	リスク分析は、リスクを記述するための体系的なプロセス、すなわち、リスクに関する有益な情報を提供するためのプロセスとして定義される。リスク分析は、主にリスクマネジメントとリスクに基づく意思決定に組み込まれている。このコースでは、リスク分析の基本的な概念、およびリスク特定、リスクアセスメント、リスクマネジメントに対処するためのモデルと方法を紹介する。リスクフィルタリング、ランキングおよびリスクマネジメントというプロセスを用いて、現実的なリスクマネジメント問題をグループワークによる解決する練習を行う。	オンライン(対面併用型) OAFM507と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
01PCS06	Operations Management IV: Project Management	1	1.0	1・2	春C	火7.8		木野 泰伸	プロジェクトを成功させるためには、要件定義、計画、作業の実施、監視とコントロールなどのシステム化された管理プロセスを適切に実行することが重要である。このコースでは、プロジェクトマネジメントの基本的な知識と方法を学習する。具体的には、WBS(Work Breakdown Structure)、スケジューリング、EVM(Earned Value Management)、原価見積りと契約、リスクマネジメント、品質保証等の技法を講義とグループワーク等を通じて学習する。	OAFM508と同一。 英語で授業。 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
O1PC509	Operations Management VI: Systems Design Theory	1	1.0	2	春B	土3,4		木野 泰伸	社会システムの構造や働きを理解することは、仕事や人生において成功するために役立つ重要な要因の一つである。フローチャート、ER図(Entity Relationship Diagram)、状態遷移図、UML(Unified Modeling Language)などのダイアグラミング技法は、社会システムの可視化や設計に役立つ。さらに、日本語、英語、スペイン語といった自然言語は、私たちが社会システムをモデル化する時に役立つ。本授業では、テキスト(自然言語)解析と、ダイアグラミング技法を用いた社会システムのモデル化と、システム設計技術を学習する。	OAFM509と同一。 英語で授業。 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM506	Operations Management II: Decision Analysis	1	1.0	1・2	春C	金7,8		徐 驊	決定分析は、複数の目標または不確実性を伴う複雑な意思決定を取り扱うための強力なツールを提供する。このコースでは、意思決定における様々なチャレンジを特定して克服するための有用な決定分析のプロセス、モデルや方法などについて学習する。複数の目標を持つ意思決定不確実性の下での意思決定や、異なる目標を持つ異なる意思決定者による意思決定などの状況における決定分析のための基本概念、モデルと実践的な方法を紹介する。現実的な意思決定問題を、グループワークによる解決する練習を行う。	オンライン(対面併用型) O1PC504と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM507	Operations Management III: Risk Analysis	1	1.0	1・2	秋B	木7,8		徐 驊	リスク分析は、リスクを記述するための体系的なプロセス、すなわち、リスクに関する有益な情報を提供するためのプロセスとして定義される。リスク分析は、主にリスクマネジメントとリスクに基づく意思決定に組み込まれている。このコースでは、リスク分析の基本的な概念、およびリスク特定、リスクアセスメント、リスクマネジメントに対処するためのモデルと方法を紹介する。リスクフィルタリング、ランキングおよびリスクマネジメントというプロセスを用いて、現実的なリスクマネジメント問題をグループワークによる解決する練習を行う。	オンライン(対面併用型) O1PC505と同一。 英語で授業。 オンライン(対面併用型) 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM508	Operations Management IV: Project Management	1	1.0	1・2	春C	火7,8		木野 泰伸	プロジェクトを成功させるためには、要件定義、計画、作業の実施、監視とコントロールなどのシステム化された管理プロセスを適切に実行することが重要である。このコースでは、プロジェクトマネジメントの基本的な知識と方法を学習する。具体的には、WBS(Work Breakdown Structure)、スケジューリング、EVM(Earned Value Management)、原価見積りと契約、リスクマネジメント、品質保証等の技法を講義とグループワーク等を通じて学習する。	O1PC506と同一。 英語で授業。 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻
OAFM509	Operations Management VI: Systems Design Theory	1	1.0	2	春B	土3,4		木野 泰伸	社会システムの構造や働きを理解することは、仕事や人生において成功するために役立つ重要な要因の一つである。フローチャート、ER図(Entity Relationship Diagram)、状態遷移図、UML(Unified Modeling Language)などのダイアグラミング技法は、社会システムの可視化や設計に役立つ。さらに、日本語、英語、スペイン語といった自然言語は、私たちが社会システムをモデル化する時に役立つ。本授業では、テキスト(自然言語)解析と、ダイアグラミング技法を用いた社会システムのモデル化と、システム設計技術を学習する。	O1PC509と同一。 英語で授業。 授業方法は後日周知	△	面接あり	国際経営プロフェッショナル専攻